

■ 第2回土木系学生会全国大会案内

■ 大学めぐり第3回“法政大学”の巻

第2回土木系学生会全国大会案内

法政大学の巻

昨年夏の第1回大会に引続き、夏季休暇を利用して、第2回大会を開催する準備が九州地区土木系学生会の手で進められています。

阿蘇青年の家での討論会、講演会、さらに天草架橋等の見学会をとおして、全国の土木系学生が一堂に会し、知識、意識の向上とともに、相互親睦をはかることを目的として、行なわれるものです。

昨年同様各大学から多数の参加者がいることを期待しています。

戦時中の昭和19年に新設された航空工業専門学校の後身、工業専門学校に昭和22年建設科（土木専修）として設置されたのが初めて、25年4月の「学制改革」によって新制大学となった。その後、富士見町、麻布をへて、39年4月、桜の名所の学園都市小金井市に新しく、地上3階、地下2階の総面積18000m²余の近代的な校舎が完成し、施設は8000m²余の講義室、演習室、自習室、製図室、6600m²余の実験室、研究室、そのほか図書館、学生食堂、事務室等の3棟からなり、また計算センターも整備されている。従来の建設工学科は昭和41年より土木工学科と建築学科の2つに分離されるといったような、歴史の若い、清新の気のみなざった学科である。土木は工学部の中では最も少人数で、一昨年までの各回の卒業生は常に20～30名程度であり、最少は昭和29年に7名というのがあったそうで、現在までの卒業生数は409名である。

大会案内

会場：熊本県阿蘇青年の家

会費：2500円

日程：8月28日～同31日

日程詳細

第1日 28日

前夜祭

第2日 29日

開会式、講演会、座談会（見学会の予備知識の習得）

映画会

第3日 30日

見学会（天草架橋、下笠ダム、有明、台風の防災設備、登山）

第4日 31日

討論会（見学会の報告、反省）

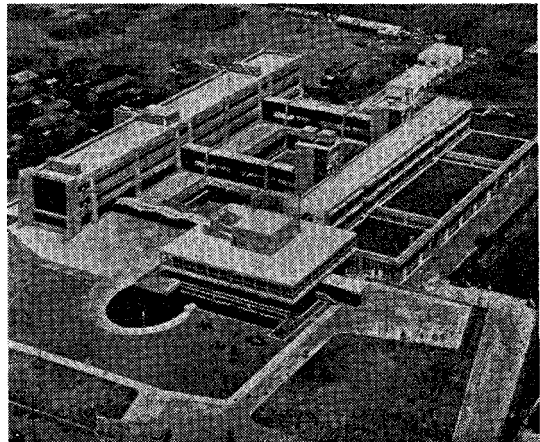
座談会（土木系学生会について）

閉会式

なお、本号では4月現在予定している内容を紹介しましたので多少の変更があるかも知れません。

各大学へは5月中旬に詳細を盛り込んだ参加案内書が九州地区学生会より発送される運びとなっています。

写真一 法政大学工学部校舎全景



卒業生の進路は建設会社為主、官庁、建設製造会社などであるが、最近ではコンサルタントに就職する人も増えてきている。しかし中には土木とは無関係な職業に就

職された先輩もおられる。しかしわが土木の歴史に特に書き加えなければならないことは、女性の土木技術者に出現したことであり、昨年卒業された志村先輩（プログラマー）、現在3年生の塩沢さんと、彼女達の開拓者精神に感動し、ここに書き加えました。

講義内容については、他大学と大差はないと思いますが、本学では、応用力学演習Ⅰ、Ⅱ、土質力学演習、水理学演習と演習に重点がおかれ、これらの基礎知識はもとより、工学部長の土本教授を初めとして、山門、大地、高野の教授陣は学理の研究にとじこめるのではなく、実際の工事にたずさわった経験も豊富で、実際に適した知識を身につける機会もめぐまれている。また新しい計算センターの設置によって、大地教授を中心として電子計算機による構造解析も行なわれるようになって、卒論にこれらを専攻する者も多くなった。さらに深く勉強したい者には、昭和40年度より大学院に工学研究科が設置された。山に登るときは、体重の軽さを荷物でカバーするという、若くファイトのかたまりの湯浅助教授と、真に良き師にめぐまれている。

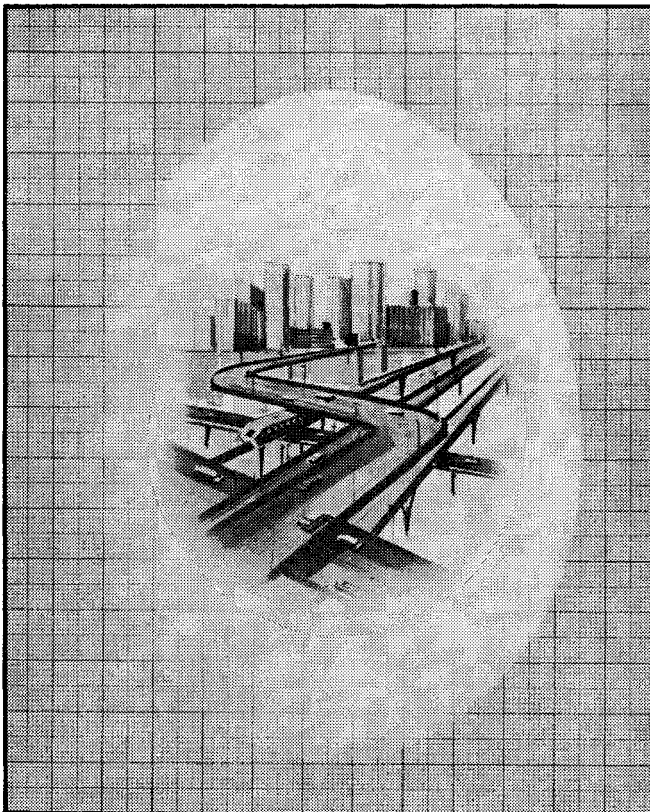
日本の大学は入り難く、入ってしまえばあとはどうと

でもなるというようなことがいわれているが、当土木工学科は最近いちじるしく進級基準がきびしくなり、1年～2年、2年～3年、3年～4年とおのおの進級基準があり、ストレートで卒業するものは60～70%程度である。特にむずかしいといわれているのは湯浅助教授の応用力学演習Ⅰ、Ⅱを初めとして、水理学、水理学演習、土質力学等である。学生数の増加にもなつて欧米のような入りやすく、出にくいというシステムをとる腹づもりらしい。

サークル活動としては、土木研究会(学友会技術連盟)があり、都市、道路、橋梁、港湾、コンクリート工学の5つの班にわかれ、研究室の先生がたを顧問として指導を受け、それぞれ基礎知識を増すべく自主的に勉強をしている。毎年秋の工学祭には、実験データ、調査資料などの成果を発表している。また見学会、合宿、野球大会などを通して、先輩と後輩のつながりも深く、新入生にとっては新しい友人も得ることができ不安と孤独がとりのぞかれるという利点をもっている。

所在地：東京小金井市緑町 2-258 (電話 (0423) 81-5341)

(橋本國男・記)



より豊かな
未来を設計する！

交通事業・プラント建設事業の
計画・調査・測量・設計・施工管理

建設コンサルタント登録

登録年月日……………昭和39年12月 8日

登録番号……………第39-140号

測量業登録

登録年月日……………昭和40年11月 8日

登録番号……………登録第(1)-1467号

日立シビルコンサルタント株式会社

本社 / 東京都千代田区神田駿河台4の6 電話・東京(255)1011(代)

大阪出張所 / 大阪市北区梅田2(第一生命ビル)

日立製作所大阪営業所内電話・大阪(361)1301(大代)